

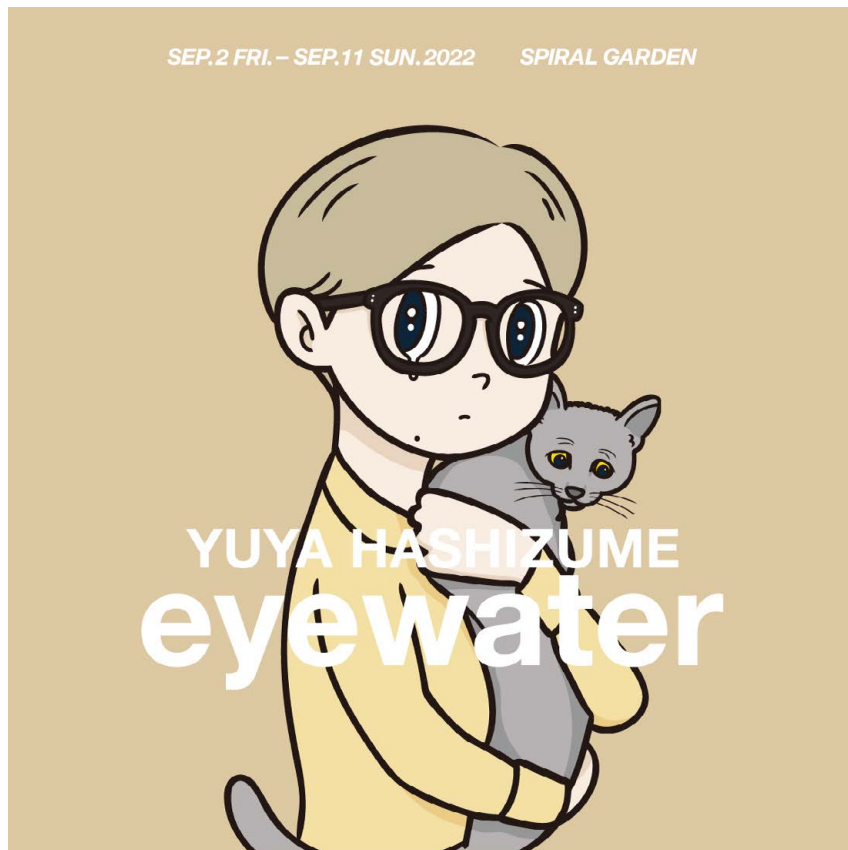
Press Release

Y K G  
Yutaka Kikutake Gallery

橋爪悠也 個展

## YUYA HASHIZUME 「eyewater」

9月2日（金） - 9月11日（日）Spiral Gardenにて開催



2022年9月2日（金）から9月11日（日）まで、Spiral Garden（東京都港区南青山）にて、アーティスト・橋爪悠也の個展「eyewater」展を開催します。

顔の描写に特徴を持つ「eyewater」シリーズ、人物が動物を抱える「eyewater animal」シリーズを、近年集中的に取り組んでいる、アクリル絵具を用いたペインティング作品にて発表します。

本展は、東京で開催される個展としては最大規模の展覧会となります。

近年の「eyewater」シリーズの成果を伝えるとともに、初めての試みとなるバルーン作品も発表予定です。

また、同時期に、Yutaka Kikutake Galleryでは、YUYA HASHIZUME 「eyewater -everybody feels the same-」を開催しています。2会場あわせてお楽しみください。

皆さまのご来場をお待ちしております。

#### プレスレビューのご案内

日時：2022年9月1日（木）16:00～17:00 会場：Spiral Garden

報道関係の皆様に向け、自由内覧のプレスレビューを開催します。

また、16:10からは、橋爪悠也氏が作品説明を行うギャラリーツアー予定しています。先着順となりますことご了承ください。

プレスレビューお申込：<https://bit.ly/3dRksTj>

\*オープニングレセプションは 17:00-20:00 に開催いたします。

プレスレビューへのご参加が叶わない場合には、こちらにお越しくださいますようお願い申し上げます。

## 開催概要

タイトル：YUYA HASHIZUME 「eyewater」

会場：Spiral Garden 東京都港区南青山5-6-23 Spiral 1F（地下鉄表参道駅より1分）

会期：9月2日（金） - 9月11日（日） 11:00 - 20:00

主催：YUYA HASHIZUME STUDIO

観覧料：無料 ウェブサイト：<https://www.spiral.co.jp>

作品の他にも、オリジナルアイテムをご用意しています。橋爪悠也が最近釣りに熱中していることから、釣りに関連するシーンで使用できるプロダクトをベースに、eyewaterのロゴ、「涙」の成分をモチーフにしたグラフィックを使用したものなど多数をご用意がごございます。

単色で彩られた地を背景に、一粒の涙が目から零れ落ちる瞬間を描いた作品シリーズ

「eyewater」によって注目を集めてきた橋爪悠也。近年はアクリル絵具によるペインティング作品に注力し、上海、台湾、ソウルなどアジア各都市で展覧会を開催し好評を得てきました。

顔の描写に特徴を持つ「eyewater」は、中心となる顔の表情は普遍性をたたえるべく一定のトーンで描かれています。

その他の要素を様々に変え、作品の魅力を深めていく試みのなかで、人物が動物を抱える「eyewater animal」といった作品シリーズも生まれました。

橋爪悠也の作品の根幹には2つの発想源があります。

ひとつは、同質のものが多数存在しそれらが多くの人々の手に渡り体験されることが、社会のなかでも重要な役割を占めている現代において、どのようにしてオリジナリティというものが生まれてくるのかということ。

そしてもうひとつは、未来が技術的にも以前より見通しやすくなり、多様な価値観の重要性が語られ、認められつつある現代において、人は未来に対してどのような想像力を持つことができるのかということ。

アーティスト自身は、個々の泣いている人物像に対して特定の意味は持たせておらず、鑑賞者に自由に解釈して欲しいと言います。

描かれた人物はどうして涙を流しているのでしょうか？

作品として描き留められた瞬間のその前後のストーリーを自由に想像し、それぞれのストーリーを作品に投影することができるのも、橋爪悠也の作品の魅力です。

## 同時開催

タイトル：YUYA HASHIZUME 「eyewater -everybody feels the same-」



会場：Yutaka Kikutake Gallery

東京都港区六本木6-6-9 ピラミデビル2F

TEL：03-6447-0500

会期：8月20日（土） - 9月17日（土） 12:00 - 19:00

休館日：日・月・祝 休

\*9月4日（日）、11日（日）のみ開廊します。

Spiralでの展覧会と併せてご覧ください。

\*9月16日（金）と9月17日（土）は、ハシヅメユウヤ開発の似顔絵販売機ヘンナーベンダーのみの展示となります。

観覧料：無料

アクセス：地下鉄六本木駅3出口徒歩3分

ウェブサイト：<http://www.ykgallery.com>

## アーティスト・ステートメント

本展覧会は僕が2017年から続けている現在進行形の「eyewater」というシリーズの「途中経過まとめ」になります。僕が2017年以前から行っている展覧会（現在まで続く）のなかで、どの展覧会にも共通する自分の大切なテーマがあります。それは「オリジナルってなに？オリジナルってあるのかな？」ということです。誤解がないように先に言っておくと、そう思うから全てが偽物だということではなく、先人が残してきたものを、新人類が見て、感じ、想像し、構築するということが結果的に素晴らしいと思っているということです。例えば、僕が絵が描きたいと思った衝動の根本には藤子不二雄がいました。ドラえもんが今も大好きです（ただあまり詳しくはありません）。絵の描き方、絵とストーリーの連動、感情の表現方法とか、たくさんの影響を受けながら、

「eyewater」というものを作りました。今では僕の描写は全く違うし、到底追いつけるものでもないのですが、「eyewater」を作り始めた頃感じていたイラストレーションとか芸術とか、アートだとかへのこだわりは無くなってきたくらい、たくさんの作品を作ってきました。

今回はその「途中経過まとめ」として、「eyewater」のなかでも「いいね👍」をいただいている動物シリーズをメインに、「大きいって言うだけでもなんか良いよね笑」ってことで作った「とりあえずSpiralで展示できる最大の大きさの立体物」のバルーン作品も発表します。

この展示を見た後に皆さんはどのようなことを感じるでしょうか？ 僕の絵のこと、涙のこと、はたまた藤子不二雄のこと？ 先人が残した素晴らしいものがあり、その延長に僕たちがいる。毎日の歯磨きのように、そんな素晴らしいものたちが話題になりながら、僕たちが生きていければ最高だなあと思います。

橋爪悠也

## 橋爪悠也 プロフィール



1983年岡山県生まれ、現在は東京を拠点に活動。独学で制作を始め、単色で彩られた地を背景に、一粒の涙が目から零れ落ちる瞬間を日本のアニメ的な描画方法によって描いた一連の作品シリーズ「eye water」によって近年注目を集めている。

事象や事物のオリジナリティの不在性が、SNSを中心とした情報公開・交換のシステムを通じてより強力に際立ち新たな環境を生み出す現代において、いかにして完成度の高い虚構を生み出しながらオリジナルとの間にズレの体験を生み出せるか、というアイデアが作品の背景に垣間見られる。2016年以降、東京や岡山を中心に自主企画の展覧会を重ねながら、ロンドン、香港、ソウルなどでの展覧会にも参加している。

### お客様お問い合わせ先

Yutaka Kikutake Gallery

Mail [info@ykggallery.com](mailto:info@ykggallery.com)

### プレスお問い合わせ先

HOW INC.

Mail [pressrelease@how-pr.co.jp](mailto:pressrelease@how-pr.co.jp)

Tel 03-5414-6405